

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所  
2020年度 パフォーマンス向上会議情報(2020年6月23日(火)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2020年6月23日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

| 番号 | 不適合内容  | グレード | 発見日   |
|----|--|------|-------|
| 1  | <p>【プロセス主建屋第三セシウム吸着装置の圧縮空気系除湿装置からの空気漏えいについて】<br/>当社社員が、プロセス主建屋第三セシウム吸着装置の空気作動弁に使用されている圧縮空気系の除湿装置のねじ込み部からの空気漏えいを確認。<br/>点検したところ、空気を圧縮した際に発生する凝縮水等を溜めるプラスチック容器下部に複数の亀裂があることを確認。<br/>漏えいが拡大し第三セシウム吸着装置の運転に支障をきたす可能性があることから予め停止した。<br/>なお、汚染水処理については、他の設備にて実施可能であるため支障なし。<br/>今後、亀裂のみられる容器を交換予定。</p> | GⅢ   | 6月15日 |
| 2  | <p>【第二セシウム吸着装置のろ過水ライン逆止弁の動作不良について】<br/>委託巡視員より、第二セシウム吸着装置B系のろ過水ラインの圧力計が、通常「0kPa」であるところ「560kPa」を示しているとの報告が当直員に入った。<br/>逆止弁の上流にある元弁の開閉操作を行ったところ、元弁にシート漏えいはみられなかったことから、逆止弁の動作不良と判断。<br/>元弁を閉止しろ過水ラインを隔離したが、第二セシウム吸着装置の運転に支障なし。<br/>今後、逆止弁の修理予定。</p>   | GⅢ   | 6月18日 |